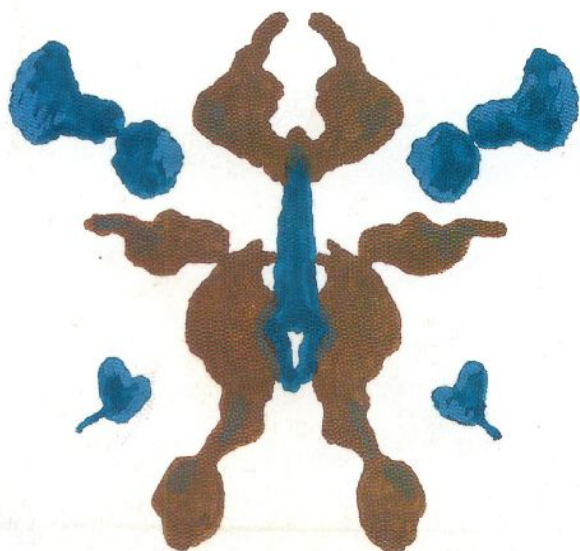
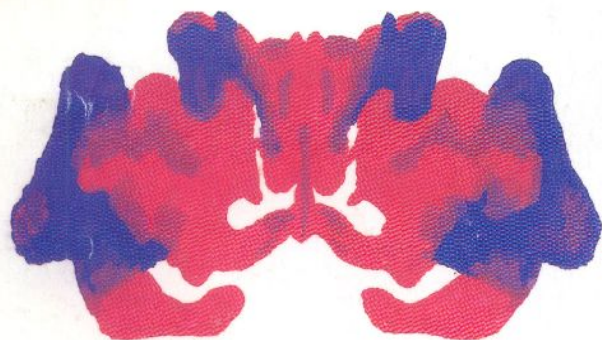


昭和34年4月21日第三種郵便物認可 平成19年11月8日発行(木曜日発行)第49巻第43号

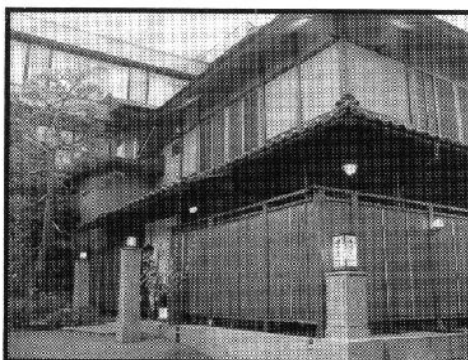
# 週刊文春

11月8日号 定価320円



### 貸切風呂でそれぞれの時間を楽しめる

#### 山形かみのやま温泉「彩花亭 時代屋」

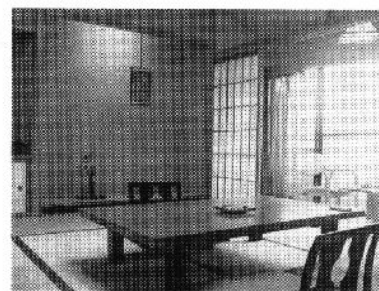


宿データ 彩花亭 時代屋 ☎023-672-2451 山形新幹線かみのやま温泉駅下車、車で5分(送迎有:要予約)。車の場合は、山形自動車道山形蔵王ICより約30分。客室数:18。IN:15時、OUT:10時。料金:1泊2食付1人14700円~(税サ込)。http://www.jidaiya.tv/

秋の紅葉便りに誘われて久しぶりに母娘旅行へ。山形新幹線を降り立ったのは、かみのやま温泉駅。駅の近くから温泉街が広がり、足湯巡りも楽しめる。迎える車で市内をみおろす高台の葉山地区へ向う。今宵の宿、「彩花亭 時代屋」はこの一角に、宿の名そのままの情緒たっぷりの風情で佇んでいた。和空間の有名デザイナー松葉啓氏がプロデュースしたとあって、白布の暖簾をくぐると、ノスタルジックでモダンな空間が目に入る。さりげなく季節の花が飾

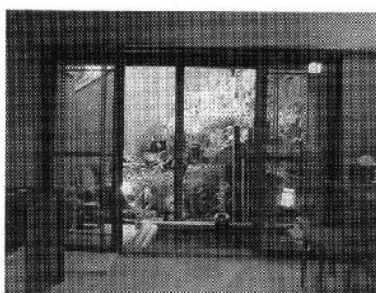
られ大人の雰囲気漂う宿に、期待と不安が膨らむ。実は今回は、六歳の息子も一緒。子連れで大丈夫だろうか? 通された八畳に広縁の和室は、清潔で程よい広さ。ただ床の小さな段差が気になり、母と息子に注意を促した。大きな窓からは、隣の建物の屋根越しに蔵王連峰が垣間見える。太陽と行き交う雲が、稜線や山々の表情を幾重にも変える様は、芸術的で眺めていて飽きることがない。「お風呂の時間だよ!」と息子が声をかけなかったら予約時間を逃すところだ。急いで色浴衣に着替えて、いざ貸切風呂へ。

普通の部屋と見間違えうドアを開けると、十畳ほどの畳の間が広がり、露天風呂は庭の一部のように配されている。ソファやCDプレーヤー



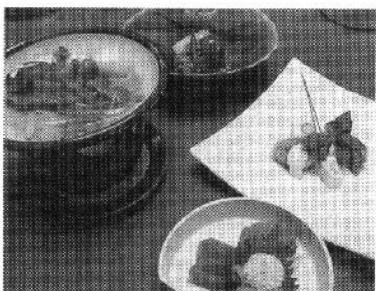
広さ・眺望・設備など様々なタイプがある

、冷蔵庫には冷えたビールやワインも。洒落た洗面台には美容スチームも完備され、カップルなら極上のバスタイムを過ごすことだろう。しかし子連れの場合はこちらと違う。予想通りパンツ姿になった息子は流行の小島よしおのモノマネをはじめめる。せつかくの雰囲気は台無しだが、周囲へ気を遣わなくていいのは貸切ならでは。笑いながらやりすごし、温泉で寛ぎながらビールで乾杯! 「実はこういうの、やってみたかったのよ」と母は満面の笑み。緑に囲まれた露天風呂で三人三様に時の流れを楽しむ。湯は無色透明で、神経痛、皮膚病などに効能があるとか。肌あたりが柔らかいので小さな子供にも安心だ。



貸切露天風呂は45分で1575円(税込)

た景色を見ながら、早めに夕食を開始する。手際よく部屋へ運ばれた料理は、器も厳選され様々な形や色が可愛らしい。十数品ある料理は、山形牛の陶板焼きなど地元食材を使った料理も多い。「前菜の蛸の煮物、とても柔らかくて美味しいわ」と、母は宿オリジナルの日本酒を片手に上機嫌♪ 枝豆チーズや、無花果蜜煮酢がけなど、前菜はワインとも相性がよさそう。珍しい黄色のズッキーニや、プチトマトなど地元産の野菜を使った炊き合わせは、彩り豊かで口に運ぶと瑞々しく、トマトの甘みがふんわりと広がる。胡麻だれうどんは、ガリックや葱など薬味が味に深みを添え絶品だ。唯一、かみそ豆腐が入った吸い物は、匂いが気になりパスをした。



夕食は野菜も多くヘルシーで女性好み

子供の食事は、息子の苦手な食材への配慮が行き届き感心しきり。北国は味が濃いとされるが、薄味の本場、関西出身の母も「上品な味付け」と太鼓判を押す。繊細で美味な料理を堪能した。布団が敷かれると、息子は自ら潜りこみ、寝息を立てる。「待ってました!」と母と順番にヒーリングエステへ。香の焚かれた部屋のベッドに横になると、まずは頭のマッサージだ。心地よさに次第に意識が遠のき夢心地に。三十分で体ばかりか、気持ちもスッキリ! 「どう、育児疲れはリフレッシュできた?」という母の言葉に大きく頷く。翌朝は紅葉狩り日和の天気。手の込んだ朝食に心もお腹も満たされ、幸せな気持ちで宿を後にした。